

## 平成 26 年度岐阜県原子力防災訓練の概要

### 1 日時

平成 26 年 11 月 30 日（日） 6：50～12：00

### 2 主催

岐阜県、揖斐川町、関ヶ原町

### 3 参加・協力機関（順不同）

県、警察本部、揖斐川町、関ヶ原町、内閣府、原子力規制庁、陸上自衛隊第 10 師団司令部・第 35 普通科連隊、自衛隊岐阜地方協力本部、岐阜地方气象台、揖斐郡消防組合消防本部、不破消防組合消防本部、揖斐川町消防団、関ヶ原町消防団、岐阜県医師会、揖斐郡医師会、不破郡医師会、岐阜県薬剤師会、揖斐郡薬剤師会、岐阜県診療放射線技師会、関西電力(株)、県原子力防災対策アドバイザー（井口名古屋大学教授、山澤名古屋大学教授）等

※参加者：約 1,400 名（うち、住民の参加は、約 750 名）

### 4 訓練の概要

福井県の関西電力(株)美浜発電所 3 号機において、放射性物質漏洩事故が発生した想定のもと、県庁において「本部員会議運営訓練」、「情報収集伝達訓練」を実施したほか、現地実動訓練として、県内全圏域において「緊急時モニタリング訓練」、揖斐川町・関ヶ原町において「屋内退避・巡視確認訓練」、「安定ヨウ素剤調合・配布・服用訓練」、UPZ（緊急時防護措置準備区域）の揖斐川町坂内川上地区を対象とした「住民避難・スクリーニング訓練」等を実施。

#### <訓練における想定>

- ・関西電力(株)美浜発電所 3 号機で地震に起因する事故が発生し、放射性物質が漏えい
- ・揖斐川ルートで本県に流入し、UPZ である同町坂内川上地区において安定ヨウ素剤を服用、屋内退避を実施した後、3 日目に住民が避難し、避難先においてスクリーニングを実施
- ・事故当日の気象の変化に伴い、関ヶ原町に放射性物質到来の可能性が浮上したことから、同町においても安定ヨウ素剤を服用
- ・発電所は 2 日目に収束に向かう

### (1) 本部員会議運営訓練（県庁）

○ 県庁で行った「本部員会議運営訓練」では、訓練参加者にあらかじめ情報を与えない「ブラインド型」の訓練を、原子力防災訓練としては本県で初めて実施しました。

○ 本部員会議で本部長（知事）から指示事項（課題）が示され、各緊急対策チームが、県の対応方針を検討しました。

○ ブラインド訓練終了後に、訓練の振り返りを行い、訓練を通じて抽出された原子力防災上の課題について検証を行いました。



(写真1-1) 本部長（知事）による指示事項伝達



(写真1-2) 緊急対策チームによる検討

### (2) 緊急時モニタリング訓練（県内全域）

○ 防護服を着用し、サーベイメータによる空間放射線量率の測定を県内全域で実施したほか、県庁において、県内12箇所のモニタリングポストや県内全域で実施したモニタリングの結果の収集・集約を行いました。



(写真2) サーベイメータによる空間放射線量測定

### (3) 屋内退避・巡視訓練（揖斐川町・関ヶ原町）

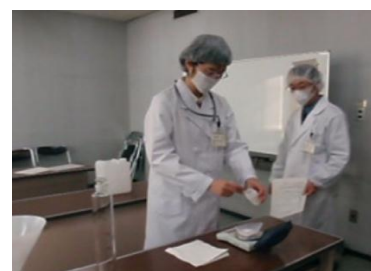
○ 両町において、防災行政無線や町広報車を使った屋内退避の呼びかけを行ったほか、町及び消防機関の職員が町内の屋内退避状況を巡視確認するとともに、各戸を訪問のうえ啓発チラシにより屋内退避時の注意点等について啓発を行いました。



(写真3) 屋内退避状況の巡視確認

### (4) 安定ヨウ素剤調合・配布・服用訓練（揖斐川町・関ヶ原町）

○ 西濃保健所及び揖斐センターにおいて、保健所職員が小児用液剤の調合を行うとともに、調合を行った液剤及び丸薬を県警パトカー先導のもと両町の各配布場所へ搬送しました。



(写真4-1) 保健所における安定ヨウ素剤調合

- 両町の住民の皆さんには、屋内退避訓練終了後、安定ヨウ素剤の配布・服用訓練のため配布場所へ参集していただきました。

(住民の方は数時間後のプルーム通過が予測される中、状況変化に備えカッパ・マスクを着用)



(写真 4-2) 安定ヨウ素剤配布場所への参集

- 国の指針では、安定ヨウ素剤服用の際には医師や薬剤師等による説明が定められていることから、両町の配布場所において、保健所職員等が住民に対し安定ヨウ素剤の効用や服用の注意点や受取の手順等を説明するとともに、揖斐郡及び不破郡医師会の協力により、医師による安定ヨウ素剤服用時に必要な問診のデモンストレーションを実施しました。



(写真 4-3) 医師による住民代表者への問診デモ

#### (5) 住民避難・スクリーニング訓練 (揖斐川町)

- 県警・自衛隊・揖斐郡消防組合消防本部等の協力により、UPZの同町坂内川上地区の住民が、県警パトカー先導のもと、自家用車のほか、町や自衛隊の車両に分乗し、避難所である同町中央公民館へ避難しました。



(写真 5-1) UPZの住民避難

- 同町中央公民館では、県診療放射線技師会の協力により、保健所職員等が身体スクリーニング(身体表面汚染検査)を実施したほか、この検査で除染基準を超える汚染が確認された場合を想定し、拭き取り等の簡易除染を行いました。



(写真 5-2) 身体スクリーニング

- また、同館駐車場では、国が導入の検討を進めているゲート型モニターを使った車両スクリーニングや、陸上自衛隊による車両除染のデモンストレーションを行いました。



(写真 5-3) 陸上自衛隊による車両除染のデモ

#### (6) 訓練参加住民への普及啓発 (揖斐川町・関ヶ原町)

- 両町の訓練参加住民を対象に、放射線の基礎知識や原子力災害発生時の留意事項、県の原子力防災に係る取組み等の説明を行いました。また、訓練会場内に啓発用パネルや放射線測定器を展示して原子力防災の普及啓発を行いました。